

令和 5 年 8 月臨時舞鶴市教育委員会会議録

開 会 日 時 令和 5 年 8 月 7 日（月） 午後 2 時～午後 2 時 37 分

場 所 市役所別館 4 1 3 会議室

出 席 委 員 廣瀬教育長 内藤委員 富川委員 稗田委員 西谷委員

欠 席 委 員 四方委員

事務局職員

志賀教育振興部長
秋原指導理事
日下部学校教育課長
小野学校教育課主査

瀬野教育総務課長
川北教育総務課総務係長

1 開 会

教育長 開会を宣告

2 議事

（教育長）

令和 5 年 8 月 7 日提出の、第 19 号議案「令和 6 年度以降に使用する市立小学校用教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いします。

（日下部学校教育課長）

令和 6 年度以降に、舞鶴市立小学校において使用する教科用図書を別紙のとおり採択するに当たり、舞鶴市教育委員会基本規則第 9 条第 1 項第 15 号の規定により委員会の議決を求めるもの。

（教育長）

教科書採択の法的根拠、共同採択、経過について説明。

委員は中丹地区教科書採択委員となって、会議に出席いただき、令和 6 年度以降使用する教科書について検討・協議を行っていただいた。本日は舞鶴市教育委員会として、令和 6 年度以降に使用する市立小学校の教科用図書の採択をお願いします。

（教育長）

「国語」について、意見を求める。

(稗田委員)

「光村図書」が良いと考える。子ども自身が「とらえよう」「深めよう」「まとめよう」「ひろげよう」「ふりかえろう」と見通しを持って学ぶ学習過程が丁寧に構成されている。「問い」から始まり、ずっと子どもたちがその「問い」を持ちながらより深めていくといった構成が良いと感じた。

また、言葉の力を育んでいくために、螺旋的、反復的に学べるきめ細かな配慮が感じられる。例えば、一学期の説明的な文章の教材は、どの学年も練習教材と本教材がセットで配置されており、1つ目の教材で学んだことを、2つ目の教材で試したり確かめたり活用したりすることができる。子どもたちが丁寧に言葉の力を育んでいく構成になっており良いと考える。

(西谷委員)

「光村図書」を推薦したい。学習者である子ども自身がどこに感動したか、どの叙述に立ち止まったか、どこに興味・関心を持ったかなど、自分の思いや考えから学習が発端できるように構成されている。

(教育長)

「書写」について、意見を求める。

(富川委員)

国語の教科書では光村図書が推薦されており、同じ「光村図書」のものが使いやすいのではないかと。先生は教えやすく、また子どもたちは学びやすいと考える。タブレットの活用方法が具体的に示されており、個別最適な学びが確保されているように感じる。

(内藤委員)

国語の教科書が光村図書を推薦するのであれば、同じ「光村図書」のものが使い勝手が良いのではないかと。デジタル教材等を活用することでより深く理解できるように工夫されている。また、各単元に「たいせつ」とコーナーがあり、筆遣いのポイントを短い言葉でわかりやすく示してある。子どもたちにとってわかりやすく学びやすいと考える。

(教育長)

「社会」について、意見を求める。

(内藤委員)

「教育出版」を推薦したいと考える。初めに学習課題を立て、終わりに次に繋げる問いが設けられており、次に繋がる構成が大変良いと思っている。学習指導を進めるうえでの工夫がされており、特にまとめのページや思考の深まる資料が掲載されていることは他にない特徴。他教科との関連も書かれており、「社会」で身につけた力が他の教科の学習にどのように関連するかがよく説明されているように感じる。

(西谷委員)

「教育出版」を推薦したい。最近の問題を解決していく上での重要な言葉を「キーワード」として記載されており、また本文中に出てくる語句についての解説も詳しい。また、6年生の歴史編では、人工的な着色を行い、カラー化を図っていることが特徴的で、子どもたちにとってイメージが付きやすいのではないかと考える。

(教育長)

「地図」について、意見を求める。

(富川委員)

「帝国書院」を推薦する。帝国書院の地図はずっと継続的に長く使われている。全体のページ数が多く見やすく、説明が豊富である。「持続可能な開発目標(SDGs)」のページもあり、持続可能な社会の実現に向けた世界各地の課題や取組が理解できるようになっている。

(稗田委員)

「帝国書院」が良いと思う。地図帳は3年生から6年生まで、4年間に渡り活用する。細かすぎると3年生の児童には抵抗感がある場合がある。しかし、帝国書院の地図は、160万分の1の図で広く見渡す地図が設けられており、3～4年生の発達段階にも配慮されており、都道府県の位置も見やすい。発達段階に配慮されている点が優れていると感じる。

(教育長)

「算数」について、意見を求める。

(稗田委員)

「啓林館」が良いと考える。どの教科書についても学習指導要領にのっとって問題解決への学習の過程や道具の活用など、子どもたちや学び方を身につけるために丁寧に作られていた。その中で啓林館は、現在も使用している教科書であり、全体的にシンプルでわかりやすい構成となっている。また細かいことではあるが、低学年で使用する数図ブロックの表裏のデザインの表し方や、大きな数の位取り表の色分けの仕方、6年生の「場合の数」では組み合わせから順列(並べ方)について数の少ない方から学ぶ配慮、5年生の「割合」では関係図を使って学ぶなど、記述や学習の方法が今学習しているものと継続して学べる。これまでの学び方に子どもたちは慣れており、また、教師にとっても指導しやすいのではないかと考える。

(内藤委員)

「啓林館」を推薦したい。全体的にシンプルに構成されているように思う。2年生以上では、多様な学びに対応する単元、巻末は学びのサポートの2部構成としている。それから全体的に話し合いとか伝え合う場面を多く設定して、他者と協力的に問題解決する場面が多く取り入れられているように感じた。

(教育長)

「理科」について、意見を求める。

(富川委員)

「啓林館」が良いと思う。算数、生活でも啓林館を推薦しており、関連性が重要ではないかと考える。単元末のまとめでは、学習の要点を振り返り、理解できるようになっているところが良いと感じた。資料として、現代的な課題である災害や環境問題など多く取り上げられているというのが特徴だと感じる。また、明確な表現を用いて、学習の方向性がはっきりと示されているところが大変良い。

(西谷委員)

「啓林館」がよいと考える。資料として直面している災害について多く取り上げられ、また、理科の見方・考え方がマーカーで引かれて、わかりやすいと感じた。導入部分で興味を持たせる写真だけでなく、気づきの視点も記載されている点も良い。少し固めの紙の「こん中たんけんシート」や「植物たんけんシート」は、持ち運びんで、家庭に持ち帰っても学習しやすい作りになっている。

(教育長)

「生活」について、意見を求める。

(稗田委員)

「啓林館」を推薦する。生活は、気付いたことをもとに考える多様な学習。子どもたちが思考を働かせ、学びの中で判断したり表現したりする。他社と比較して良いと思った点は、小学校は幼児期から学校生活に慣れ、低学年中学年へと成長していくが、それぞれの発達段階にきめ細やかな配慮がされた構成となっているところ。具体的には、巻頭では幼児の遊びや学びが教科へとスムーズに繋がるように一年生をスタート、子どもたちが幼児期の経験や体験を振り返りながら学校生活に期待を持てるような構成になっている。また2年生の最初には「1年生をむかえよう」というページがあり、自分たちの成長を実感して喜び合える、さらに頑張ろうという構成になっており、発達段階に配慮した構成になっているところが良いと考える。

(西谷委員)

「啓林館」を推奨する。「見つける」「比べる」「例える」「試す」「見通す」など気付いたことをもとに、考えるための多様な学習活動を推進し、思考を働かせ、学びの中で判断、表現し、気づきの質を高めることができる。また保護者向けや指導者向けの注意やQRコードが掲載されており、自宅に帰って家庭での学習にもつながるものだと考える。

(教育長)

「音楽」について、意見を求める。

(富川委員)

「教育芸術社」が良いと思う。1点目は、全体の構成が発展的な内容になっており、

興味を持つようになっている。2点目は、学習マップで「歌う」「演奏する」「きく」「つくる」と年間を通した学習の見通しを示している。3年生の音楽を作る教材では、二次元コードを読み込んで音楽づくりできるというのが大変興味深い。

（稗田委員）

「教育芸術社」が良い。構成が非常にしっかりしている。どのような力を育てようとしているかが明確である。一つの題材の中に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の教材が配列され、さらには発展的な内容や生活との繋がりについても書かれてあり、子どもたちが学びを繋ぎながら、自分の音楽性や感受性を高める力につながっていくものと感じる。

（教育長）

「図画工作」について、意見を求める。

（西谷委員）

「日本文教出版」を推奨する。シンプルでおとなしめの写真が多いが、その分子どもたちの自由な発想につながりやすく、想像豊かな授業になるのではないかと思う。学習指導要領の3つの観点を「手」「電球」「笑顔」のイラストで表し、題材ごとに3つの観点のめあてが明示されているためイメージしやすい。

（内藤委員）

「日本文教出版」を推薦したい。子どもたちが関心を持つように、作品の写真が多く掲載されていることに加えて、児童が活動する様子の写真も多く掲載されている。子どもが関心を持ちやすい教科書だと感じた。既に学んだ事柄が確認できるような工夫がある。「つながる学び」のコーナーでは、他教科との関連をわかりやすく示されている。

（教育長）

「家庭」について、意見を求める。

（内藤委員）

「開隆堂」を推薦したい。生活課題を実践に取り組みやすいようにステップが示されており、具体例をヒントに、自分の生活課題を実践で取り組みやすくなっている。また教科横断的な学びを実現するために、各教科の学習内容と関連する箇所がわかりやすく示してある。2年間の学習を中学校に繋げるよう接続のページがあり良いと感じた。

（富川委員）

「開隆堂」が良いと思う。多くの動画コンテンツがあり、いろんな手順を何度でも確かめられるというのが特徴。全ての題材が問題解決的に学習できるよう、「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3つのステップで構成されている。2年間でそのように学習し、中学校への学習にも繋げるページが掲載されている。

（教育長）

「保健」について、意見を求める。

（冨川委員）

「光文書院」が良いと思う。原則見開き 2 ページで 1 時間の学習が構成されており、学習課題からまとめまでわかりやすく一目で把握できるようになっているところが良い。

（内藤委員）

「光文書院」を推薦したい。「見つけよう」「調べよう」「話し合おう」「生かそう」など、学習の流れが示されており、児童が自分と重ね合わせた上で、実生活で学びを生かせるように丁寧な手立てがなされているように感じた。児童が話し合って考える活動が多く取り入れられていることも良いと考える。

（教育長）

「英語」について、意見を求める。

（西谷委員）

「東京書籍」を推奨したい。デジタルコンテンツが多く、アニメーションやモデル映像等の質が高く、子どもたちも馴染みやすく、学習しやすいと考える。また文字学習は、文字の始点や書き順、方向が記号で明記してありわかりやすい。

（冨川委員）

「東京書籍」を推薦したい。デジタルコンテンツが多い。身近なところから視野を広げていき、見通しを持って学習を進めていくことできる構成になっている。別冊に「My Picture Dictionary」がついており、学習する単語や文が分野ごとに丁寧にまとめられているところが良いと思った。

（教育長）

「道徳」について、意見を求める。

（稗田委員）

「光文書院」が良い。丁寧に詳しく、学びやすく全体的なわかりやすさがある。各学年の発達段階に応じた「レジリエンス」コラムが設けられており、自分の心に向き合える内容になっている。この「レジリエンス」とは、困難をしなやかに回復する力、へこんでも立ち直る力。これから先、見通しの立ちにくい世の中を生きていくこれからの子どもにつけてほしい力である。また、「みんなでやってみよう」では、実際に問題となる場面を想定した体験的な活動を通して、より良い人間関係の構築などの生活に生かすことができる。

（西谷委員）

「光文書院」を推奨したい。4 ページ構成で文章が長すぎず、内容をじっくり考えられる。特に考えさせたい内容を重点主題として掲げられている。また、子どもたちが直

面している情報モラルについて教材とコラムのセットで学ぶことができ、学びやすく、心に響く授業ができると思う。

(教育長)

第 19 号議案を会議に諮り、全員異議なく承認。

3 その他

なし

4 閉 会

教育長 閉会を宣告

署 名

(教育長)

記 録